

牧場で、学校で、多様な畜産ふれあい体験 2010

平成22年度 地域畜産ふれあい体験交流活性化事業報告書



グラウンドで牧草作り(岩国市立灘小学校)



養豚のお話し(岩国市立神東小学校)



鉄棒に黒毛和牛(山陽小野田市立高千帆小学校)



鉄棒に黒毛和牛(美祢市立大嶺小学校)



酪農家が料理講師(山口県立大学)



酪農のお話し(防府市牟礼児童館)

平成23年3月

社団法人 山口県畜産振興協会

はじめに

(社)山口県畜産振興協会は、(社)中央畜産会の「地域畜産ふれあい体験交流活性化事業」に取り組み、各種ふれあい体験や畜産物加工調理体験教室を行ってきました。事業最終年となる平成22年度は、年度当初から宮崎県での口蹄疫発生により牧場や畜産試験場などの立ち入りが困難となり、牧場体験学習は、8月末から開始しました。このような時期だからこそ、8月には、小学校での畜産体験学習と受入農家の意見交換会を実施しました。昨年度学校全体で牛を学んだ神東小学校の岩永先生に事例紹介をお願いし、牛にふれあい、牧場を体験し、事前事後の学習により、子どもたちの食や命に対する意識が大きく変化することを発表していただきました。

山口県では一般の方を受け入れる牧場は数少ないのが現状です。防疫体制を重視すべき時代にあって、単なる牧場見学に神経を使うべきではありません。それよりも、畜産ふれあい体験サポーターが牧場に近しい小学校と調整して、地域に合った体験学習を畜産関係機関との連携により実施することが、お互いのメリットになると考えます。子どもたちも変化するようですが、関係した畜産農家も自らの仕事や家畜のことを直接子どもたちに伝えた経験や子どもたちからのお礼の手紙は、厳しい状況にある畜産業の経営意欲へのビタミン剤にもなっているようです。畜産関係者や教育機関がいろいろ工夫して体験内容を検討し、牧場と連携することで多様な活動が可能となります。

受入牧場でも、福川子どもクラブのように、しっかり目的を持って牧場体験に臨む場合には、サポーターが子どもたちのイキイキした頑張りに驚くほどです。

畜産物調理教室も単に料理と試食だけでなく、畜産農家が講師となり子どもたちと一緒に料理を作り、畜産を語る教室や職人による本格的なモッツアレラチーズ作りを経験した後、食について長時間の講義や意見交換を行う大学生と高校生対象の料理講習会なども経験できました。

今年度は、新たに2つの小学校がモーモースクールや体験学習に取り組み、着実に畜産による体験学習を理解する先生も増えているようです。今回行った体験内容を参考にいただき、新たに受け入れてみたい畜産農家が増え、畜産を体験学習に活用する教育関係者が増えてくることを願っています。

また、これまで実施してきた多様な畜産ふれあい体験に参加協力していただいた畜産農家の方、関係機関の方々、そして個人サポーターの方々に対し厚くお礼申し上げます。

平成23年3月

社団法人 山口県畜産振興協会

目 次

1. やまぐち畜産ふれあい体験交流活性化会議の概要 P1
2. いろいろな活動の様子 P2～12
3. 畜産ふれあい体験普及啓蒙資料 P13～17

<お知らせ>

(社) 山口県畜産振興協会では、畜産ふれあい体験、畜産物加工料理教室の様子や、報告書などの情報を、ホームページ「やまぐち畜産ひろば」(アドレス：<http://yamaguchi.lin.gr.jp/>) で紹介しています。(「やまぐち畜産ひろば」で検索できます。)

トップページから緑の文字で紹介してあるコーナーから「ふれあい体験」(<http://yamaguchi.lin.gr.jp/fureai/index.html>) をクリックしてください。

また、学校での体験学習をご希望の方は下記へご相談ください。

<問合せ先>

社団法人 山口県畜産振興協会 事業指導部 担当 清水

〒754-0002 山口市小郡下郷 2139 県 JAビル内

TEL 083-973-2725

FAX 083-974-1030

第1回 やまぐち畜産ふれあい体験交流活性化会議

1. 開催日時 平成22年5月31日(月) 13:00~16:00
2. 開催場所 山口市 防長苑会議室
3. 出席者 活性化委員7名(9人中2名欠席) 畜産振興協会 2名
4. 内容 平成22年度の取り組み内容について協議。

<主な意見・協議>

- ◇ 口蹄疫発生から、学校、牧場での体験学習は秋以降へ。
- ◇ 小学校単位の取り組みが有効。先生と農家、関係者を集めた講習会実施。食育が突破口であり栄養教諭の理解が必要。
- ◇ 体験学習PRパンフ、タペストリー、版画の展示、レシピ集など作成。
- ◇ 防疫体制強化は必要であるが、見てもらうことも重要。まとまったグループ(学校)対象がベスト。
- ◇ 観光牧場では体験受入自粛。しかし、酪農家として牛乳PRは当然。牧場紹介も必須であり、やり方を工夫。

第2回 やまぐち畜産ふれあい体験交流活性化会議

1. 開催日時 平成23年3月2日(水) 13:00~16:00
2. 開催場所 山口市 防長苑会議室
3. 出席者 活性化委員 8名(9人中1名欠席) 畜産振興協会 2名
4. 内容 今年度の活動報告と来年度以降取組予定。

<主な意見・協議>

- シンポジウムでは熱意ある先生の思いが伝わる。継続的な関係づくりが理解ある先生を広げることになる。
- 牧場を支援するグループで児童館と連携。継続する。
- 新規に大規模小学校で体験学習ができた。校長も大変感謝。他の学年児童からの要望も多く、来年以降も実施希望。
- スタッフとして参加した農林事務所職員は家畜保健衛生業績発表で取組内容を紹介。
- 山口は牛乳の地産地消100%。先生も児童も知らない。体験学習は必要。
- 米飯給食が増える中、ご飯に合う牛乳摂取の工夫も必要。
- 学習指導要領は学力重視傾向。しかし、取り組んだ学校では総合学習ではなく各教科で対応。先生の考え次第。
- 先生向けチラシに加えて、具体的実践内容事例を写真で見せることも必要。

<来年度以降の予定>

中央の事業は今年度で終了。来年度は自主事業により予算化。予算額は職員旅費と農家旅費程度だが、配布資料やタペストリーは今年度作成しており、ファイルもあるので必要に応じて印刷し対応可能。

謝金や旅費無しでも打ち合わせ会議は必要。⇒ 賛同していただける委員を募り継続。

学校からの受入窓口は協会が行い、実際に希望があったときは、近くの畜産農家、農林事務所、畜産試験場、サポーターと調整。

学校関係者と受入牧場を対象としたシンポジウム開催結果

1. 開催日時 平成22年8月23日(月) 10:00~16:00
2. 開催場所 山口セミナーパーク(山口市)
3. 参加者
参加人数 65名(学校関係25名、牧場9名、サポーター27名、事務局4名)
4. 内容

畜産ふれあい体験学習取組内容紹介 畜産振興協会 事業担当 清水
牧場体験、加工調理体験、小学校での体験学習紹介。協会の窓口機能紹介。

全児童で取り組んだ牛の学び 岩国市立神東小学校 岩永尚枝教諭
学校全体での牧場体験、出前授業、乳業工場見学等が子供たちの食育、キャリア教育、道徳(命を感じる)教育へつながる。

体験学習の受け入れを通じて 防府市 池田牧場 池田英雄氏
受入開始の経緯、牧場の学習メニュー紹介、堆肥から資源循環紹介、先生に知ってもらいたいこと、サポーター活用、受入側の変化、酪農理解から牛乳消費拡大へ

学校側、受入牧場側に分かれての分科会 **全体パネルディスカッション** 山大 高橋委員
先生同士の情報交換。中学校教諭が宿泊体験学習を牧場体験実施へ。栄養教諭は命の学習・食育を期待。事前学習の重要性。牧場側も生産現場を見せることへの意識改革。大学生(栄養学科)も生産現場の経験が無い。

5. 結果・課題

- 意識ある方の参加となり、牧場体験学習への期待は大。受入牧場にもメリット大。行政レベルの支援も必要。
- 先生参集の難しさ。同日も隣の会場で先生の研修があるなど、夏休みでも多忙。
- キャリア教育にも対応する体験学習であり、学校教育課の理解と連携へ。

<アンケートから>

よい出会い、学びの場になりました。この取り組みを畜産振興協会中心の研修会にとどめず、学校教育のキャリア教育に関連づいた学校教育課などと連携され体験学習を学校が行いやすい環境づくりにつなげてほしいと思います。子供達の様々な経験不足を補うためには興味ある保護者が参加する形から学校教育で経験する場を設けやすくすることが、より重要に感じます。また実際に牛を学校へ連れてきてもらえるのはすばらしい。児童生徒を動かすことは授業時間確保や費用の面でリスクが多いので予算が来年以降もつくると良いと思いました。



岩永教諭の発表



池田さんのお話



パネルディスカッション

里山で牛とのふれあい体験（福川子どもクラブ） 開催結果

1. 開催日時 平成22年8月28日（土）29日 10:30（土）～16:00（日）
2. 開催場所 ふるさと牧場（防府市久兼410）・・・肉用牛繁殖、水稻、林業経営
3. 参加者 60名
 - ◇ 参加者 福川子どもクラブ（小学生30名、ボランティアスタッフ17名）
 - ◇ 関係者 牧場2名、事務局3名、サポ-ター7名、研修生1名

4. 内容

牧場作業体験

- 牛舎掃除、ボロ出し、牧柵修理

牛の飼育体験

- グループ単位で、夕方、朝のエサやり、哺乳体験

野外調理体験

- 竹加工（器、箸）、棚田米炊飯、県産牛肉を使った野外調理（みそ汁、バーベキュー）、竹を使ったソーメン流し。

牧場宿泊体験

- 薪でドラム缶風呂、テントで宿泊、夜の里山体験（専門講師による夏の虫観察）

和牛を知る体験

- 和牛登録のお話、子牛の体測、鼻紋採取体験。

ふりかえり

- ふるさと牧場のお話（山本代表）、グループによる体験とりまとめと質疑応答

5. 結果・課題

- 宿泊体験も兼ねて、牧場作業や野外体験理解。子どもクラブ代表の熱意あるふりかえりと学生スタッフのサポートで夏休みの貴重な体験となる。

<アンケートから>

- ◇ 今年は初めて一泊二日の活動で時間も充分あったのでひとつひとつの活動をととても充実させることができましたと思います。また今年は実際の仕事の一部を体験させてもらったのでここでの仕事をより理解できたと思います（福川スタッフ）。
- ◇ 大人になったら山本さんみたいに自分のぼくじょうみたいな山を作りたい（4年生）。
- ◇ 2日間里山人になってみて、ふだんとの生活のちがいを感しました。まず、水がとても冷たくて、おいしかったです。牛を近くで見る事もないけど、エサやりを通して、牛のお世話1頭でも大変なのに、たくさんかわれている畜産家の労働なんて、人不足もさわがれているので、難しい問題だと初めて思いました（大学生スタッフ）。



繁殖牛への飼料給与体験



子牛とのふれあい体験



ふりかえり

山口市立鑄銭司小学校の酪農ふれあい体験（本廣牧場） 開催結果

1. 開催日時 平成22年9月3日（金） 8:00~12:00
2. 開催場所 山口市鑄銭司 本廣牧場、県酪乳業工場
3. 参加者 25名
 - ◇ 参加者 山口市立鑄銭司小学校3年生16名、保護者6名
 - ◇ 関係者 小学校関係者2名、牧場1名、サポーター1名、関係機関2名、事務局2名
4. 内容

酪農作業体験学習

- 搾乳見学；酪農ヘルパーの搾乳作業見学、前搾り体験。
- 飼料給与；自家生産の中型ロールベールの中身説明と飼料給与体験。

学校牛乳ができるまでを学ぶ学習

- バスの中で、酪農クイズ、牛乳ができるまでのビデオ鑑賞、本廣牧場の取り組み等説明。
- 乳業工場見学。学校牛乳ができる過程を確認。3種類の牛乳試飲。

5. 結果・課題

- 酪農家と子弟担任教諭からの依頼により実施。地域の仕事を学ぶ学習として実施。学校周辺で栽培する自給飼料も後日学習。地元自治会とも連携して、白いロールベールに児童がイラストを描き、国道2号線沿いに展示（H23山口国体PRの文字も）。



ロールにペイント

<アンケートから>

・畜産農家の仕事は朝早く、力仕事で休む暇がなく忙しいというイメージでしたが、今回実際に見学してみて、やはり、体力・忍耐力のいるお仕事だということがわかりました。生き物である牛のお世話は毎日欠かせない事であろうし、伝染病にも気を付け、衛生面も常に考えておかなければならないとても大変なお仕事だと思います。それゆえに、とてもやりがいのある素晴らしいお仕事だということもわかりました。私達は家族全員が牛乳が大好きなので、そんな大変な行程から生産された牛乳を、これからも毎日、おいしく味わいながら飲んでいきたい思います。見学に参加でき、本当に良かったです。ありがとうございました（保護者）。

・この前は、牛にゆうになるまでの見学をさせていただきありがとうございました。はたらいっている人は、とても、みんなのために一生けんめいはたらいっているなと思いました。また、らくのう工場に行きたいです。私は、スーパーで、ベルちゃんマークの牛にゆうをかったりします。とくのう4.2を飲みたいと思います。らくのう工場の牛にゆうは、工夫がされているなと思いました。お世話になりました（女子児童）。



搾乳前搾り体験



ロールベールを学ぶ体験



乳業工場見学

小学校親子の牧場体験・地域の地産地消を学ぶ体験
(秋吉台肉牛ファーム) 開催結果

1. 開催日時 平成22年10月28日(土) 10:00~15:00
2. 開催場所 秋吉台肉牛ファーム・ほっとビレッジ美東(美祢市)
3. 参加者 26名
 - ☆ 参加者 小学生9名、保護者6名
 - ☆ 関係者 牧場1名、耕種農家含む関係者8名、協会1名

4. 内容

牧場体験

ファーム概要説明後、クイズ形式で肉牛生産過程見学、エコフィード見学・説明、堆肥製造過程見学、凍結精液説明、和牛放牧理解および飼料給与体験

地産地消を学ぶ体験

ファーム牛肉、ファーム堆肥利用の各種野菜紹介・試食

ドリーネ野菜収穫体験

ファーム堆肥利用の秋吉台ドリーネ畑で野菜収穫体験。意見交換

5. 結果・課題

- 秋吉台肉牛ファームはヌレ子導入から育成、肥育、さらに繁殖、放牧、精肉販売全てが学べる牧場。製造堆肥は地域稲作、野菜農家、園芸店でも販売し、資源循環型農業も学べる。さらに、豆腐粕やビール粕からエコフィードも活用。
- 堆肥やエコフィードへの消費者の関心を確認し、説明パネルの必要性から事業で作成。牧場展示の他、精肉販売店でも展示し、多くの消費者へPR。



牧場に入る前の消毒



子牛飼育の説明



堆肥づくりを学ぶ



飼料給与体験



地産地消体験



ドリーネ野菜収穫体験

酪農を学ぶ総合学習（岩国市立灘小学校）開催結果
（わくわくいきいきモーモースクール）

1. 実施日程、場所、参加者、内容

実施月日	場所・参加人数	内容
H22.6.29	小学校教室・校庭 （児童29名、先生名、牧場1名、畜試2名、協会1名）	榎本酪農、牧草専門研究員による出前授業。牛と草のお話、校庭にスーダングラス播種（播種方法説明、播種後の栽培管理方法説明）。
H22.9.7	小学校校庭（児童29名、先生1名、畜試2名、協会1名）	牧草刈取り（鎌で収穫）、細断、サイレージづくり体験（20ℓの樽に充填）
H22.11.9	榎本牧場（酪農） （児童29名、先生1名、牧場3名、サポーター1名、関係者3名、協会2名）	牛舎探検、エサの話、サイレージの話、サイレージ給与、子牛哺乳、乳牛ブラッシング、酪農の仕事（榎本さんのお話）。サイレージ評価。中央酪農関係者4名見学。
H23.2.15	小学校家庭科室（児童29名、先生1名、牧場2名、協会1名）	牧場牛乳を持参し、加熱殺菌後試飲。牛乳の話後、バター作り体験、カッテージチーズ作り実演・牛乳もち実演（榎本舞）

2. 体験学習参加

4年生児童29名、担任先生1名

3. 結果・課題

- 口蹄疫発生により牧場体験が延期されたため、牛のエサ（牧草）を校庭で栽培することから体験し、サイレージづくりを通じて酪農体験学習、さらに、牛乳を食べる体験へ発展。



6/29 校庭の畑で播種



9/7 スーダンの収穫



11/9 サイレージ給与



11/9 乳牛とのふれあい体験



11/9 サイレージ評価公表



2/15 牛乳を固める

牛で学ぶ総合学習（岩国市立神東小学校）開催結果
（わくわくいきいきモーモースクール）

1. 実施日程、場所、参加者、内容

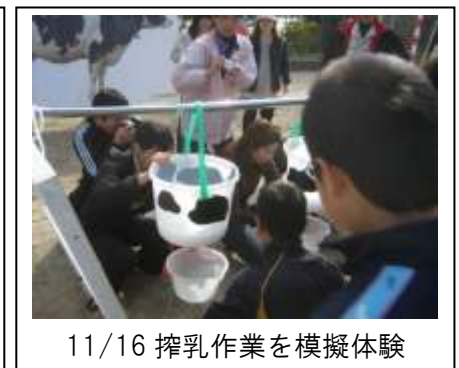
実施月日	場所・参加者	内容
H22.7.9	小学校教室（全児童・先生、牧場1名、サポーター1名、協会1名）	周防大島町 瀬川牧場（酪農）瀬川氏が酪農のお話、事前学習からの質問に回答。給食交流会。
H22.11.16	小学校校庭・教室 （全児童・先生、牧場2名、サポーター1名、関係者6名、協会2名）	畜試和牛子牛2頭とふれあい体験学習（子牛に触れる、体測、鼻紋採取。酪農の仕事お話、模擬搾乳体験、豚の学習（高学年）、給食交流会。
H22.11.30	瀬川牧場（酪農） （高学年10名、先生2名、牧場2名、関係者1名、協会1名）	飼料給与作業、子牛への飼料給与作業、堆肥の袋詰め作業、瀬川さんのお話。

2. 体験学習参加者

全児童28名、担任教諭3名（複式学級）、教頭、校長

3. 結果・課題

- 酪農家の出前授業から始まり、小学校での畜産ふれあい体験（和牛、酪農、養豚）により各学年が目的を持って体験学習を実施。高学年は、瀬川牧場で中学生と同じ作業体験。養豚は、授業後の疑問を島田研究員と先生がメールでやりとりし事後学習。給食交流会後の児童素読（学年別）によるお礼。
- 学校教諭が学習成果をとりまとめ。印刷製本後県下全小学校へ配布予定。
- 高学年担当岩永先生は、3/7 中畜シンポジウムで事例発表。



小学校での畜産ふれあい体験学習（山陽小野田市立高千帆小学校）開催結果

（わくわくいきいきモーモースクール）

1. 開催日時 平成22年11月26日（金） 10:00～13:30
2. 開催場所 山陽小野田市立高千帆小学校
3. 体験学習参加者 110名
 - 参加者 2年生88名、担任教諭3名、栄養教諭1名、校長1名
 - スタッフ 畜産農家3名、サポーター7名、関係機関3名、協会4名
4. 内容

子牛とのふれあい体験コーナー

藤井牧場の乳用子牛（♂）1頭、畜試和牛子牛1頭、見島牛子牛1頭にさわる、牛の身体測定、鼻紋採取、心臓の音を聞く体験。

酪農を知るコーナー

若手酪農家、サポーターが酪農の仕事を説明（藤井牧場飼料、搾乳器具）。搾乳キットによるバケツ搾乳競争（酪農家、サポーターが指導）

バター作り体験

県酪乳業協会サポーターが牧場牛乳の試飲、ノンホモ牛乳で脂肪分離説明後、持参したペットボトルでバター作り体験。クラッカーに付けて試食。

給食交流

参加農家、サポーターが3クラスの教室にわかれて一緒に給食をしながら交流。

5. 結果・課題

- ふれあい活性化会議委員栄養教諭勤務の小学校と連携し初めての体験学習実践。市内2戸の酪農家が参加し、乳牛と肉牛の違いも理解。
- 酪農家2戸は初体験であったが、子どもたちの反応に感動。校長も子どもたちの目の輝きに感動し、毎年実施の要望あり。



乳牛子牛とのふれあい



バター作り体験



模擬搾乳体験



和牛子牛の鼻紋採取体験



和牛子牛とのふれあい



酪農家と給食交流

小学校での畜産ふれあい体験学習（美祢市立大嶺小学校）開催結果

（わくわくいきいきモーモースクール）

1. 開催日時 平成22年11月30日（火） 10:00～13:30
2. 開催場所 美祢市立大嶺小学校
3. 体験学習参加者 82名
 - 参加者 1年生56名、担任教諭2名、栄養教諭1名、校長1名
 - スタッフ 畜産農家5名、サポーター7名、関係機関4名、協会4名
4. 内容

子牛とのふれあい体験コーナー

畜試和牛子牛1頭、見島牛子牛1頭にさわる、牛の身体測定、鼻紋採取、心臓の音を聞く体験。

酪農を知るコーナー

若手酪農家、サポーターが酪農の仕事を説明（土山牧場飼料、搾乳器具）。搾乳キットによるバケツ搾乳競争（酪農家、サポーターが指導）

バター作り体験

県酪乳業協会サポーターが牧場牛乳の試飲、ノンホモ牛乳で脂肪分離説明後、持参したペットボトルでバター作り体験。クラッカーに付けて試食。

給食交流

参加農家が2クラスの教室にわかれて一緒に給食をしながら交流。

5. 結果・課題

- 4回目の体験学習であるが、経験者は担任1名のみ。校長はNHK取材などを市教育委員会を通じ市内学校へPR。学校全体に牛の学習が浸透。
- 酪農教育ファームを希望する酪農家が初参加し、小学生との体験交流を理解。県中央部であり、子ども達への説明を経験できる場としても有意義。



和牛子牛の心音を聞く



酪農のお話



乳牛のエサ説明



模擬搾乳体験



バター作り体験



バター完成

児童館児童の牛乳・乳製品料理

(防府市牟礼児童館) 開催結果

1. 開催日時 平成22年9月18日(土) 9:30~14:00
2. 開催場所 防府市牟礼児童館(防府市牟礼)
3. 参加者 39名
 - 講師 防府市生活改善実行グループサンサングループ 4名
 - 参加 児童25名、保護者1名、指導者3名
 - スタッフ サポーター5名、協会1名

4. 内容

牛乳加工体験1

池田牧場指導によりカッテージチーズ作り体験。

牛乳料理体験 講師・指導者と一緒に作る

ミルク鍋、フルーツヨーグルト、トロピカルヨーグルト

牛乳加工体験2

サポーター指導によりバター作り。

試食・酪農のお話

サポーターが酪農のお話。協会から児童館近くで始まる和牛放牧紹介。トロピカルジュースを飲みながら意見交換。

5. 結果・課題

- 児童館参集による牛乳料理教室として開催。1年から4年生までが対象で、池田牧場を知る児童も多く、より酪農を理解。



調理前に詩吟体験



牛乳鍋づくり



フルーツヨーグルトづくり



バター作り指導



酪農のお話



トロピカルジュース試飲

大学生がチーズづくりと乳製品料理に挑戦（県立大学）開催結果

1. 開催日時 平成22年10月23日（土） 10:00～17:00
2. 開催場所 山口県立大学調理室・食堂（山口市宮野）
3. 参加者 38名
 - 講師 チーズ講師1名、牛乳料理講師（酪農家2名）、食の講師1名
 - 参加 県立大学生（栄養学科）22名、高校生（野田学園）6名、先生1名
 - スタッフ 大学講師3名、サポーター1名、協会1名

4. 内容

モッツアレラチーズづくり 弘重講師

フレッシュチーズ指導（殺菌、ヨーグルト添加、レンネット添加、固めてカット、水切り）
カードを切ってすし桶で熱湯に入れ、素手で練る。学生数名が体験

チーズ・牛乳を使った簡単料理づくり 三芳・水谷講師

ピザ、モッツアレラ刺身、カプレーゼ、カナッペ、ヨーグルト寿司指導。

試食 試食をしながら、情報交換

酪農を学ぶ講義

水谷氏酪農の仕事、大石サポーター酪農支援、協会酪農の現状説明

クロストーク 食の情報発信者 魚戸おさむ氏と栄養教諭 瓦屋氏（県立大OB）が生産現場と食について話題提供と参加者からの意見交換

5. 結果・課題

- 調理後の講義からクロストークまでを大学生有志（お弁当の日プロジェクト）が企画。多くの参加者は酪農・チーズづくり・牛乳料理までを初めて体感。
- クロストークでは、生産現場から食材、料理、お弁当の日、学校給食まで多くの取材を踏まえた話題提供とグループ単位での話し合い→代表者が発言の繰り返しで全員が参加。



土山牧場の牛乳が原料



チーズの基礎講義



料理内容説明



ヨーグルト寿司に挑戦



水谷さん酪農のお話



魚戸さんの話題提供

小学生親子の牛乳・乳製品料理

(下関市川棚公民館、牧場体験、乳業工場見学) 開催結果

1. 開催日時 平成23年1月15日(土) 10:00~15:00
2. 開催場所 下関市 川棚公民館 → 原田牧場 → 乳業工場
3. 参加者 36名
 - 講師 県酪料理講師1名
 - 参加 児童11名、保護者8名
 - スタッフ 酪農家2名、県酪3名、乳業協会6名、協会1名

4. 内容

牛乳料理

石田講師の指導により、親子で牛乳鍋、里芋クリームコロッケ、牛乳餅づくり。

試食・意見交換

牧場体験 市内菊川町 原田牧場

牧場見学、子牛とのふれあい、哺育体験、子牛の心音を聞く体験

酪農体験 県酪乳業工場 研修室

酪農家2名による酪農のお話、牛乳パックで工作紹介。質問コーナー

5. 結果・課題

- 一般公募による料理教室。父親の参加も多く、牛乳料理も好評。参加者も牛乳の料理利用は少ない。
- 牧場体験では、市内酪農家と一緒に体験受入を経験。
- 乳業工場では、工場職員2名(若手女性)も急遽参加し、体験交流活動を理解。酪農家とも初め交流し、県酪・乳業工場職員の意識向上へ。



クリームコロッケづくり



姉妹で挑戦



3品完成



子牛の心音を聞く体験



哺育体験



酪農家のお話

普及啓蒙のための資料
 <タペストリー>



池田牧場体験マップ



池田牧場堆肥ができるまで



水谷牧場等身大ホルスタイン



ふるさと牧場等身大和牛



秋吉台肉牛ファーム堆肥・飼料紹介



ギンチク牧場堆肥紹介



ギンチク牧場エコフィード紹介



ギンチク牧場看板



山口型放牧について



山口型放牧ってなんだろう

<普及啓蒙資料>

神東小学校 「牛」に学ぶ
いただきます「いのち」を大事に(2年生)

岩国市立神東小学校
[TEL] 083-974-1030

岩国市立神東小学校体験学習まとめ

デリ・ファーム
「お乳を出す牛って男の子？女の子？」
普段口にする食べ物について、驚かされられています。

「畜産・大塚だと思っけど、畜産のこと説明できない」「興味はあるけど忙しくて・・・」
という声も多いため、そこで、教育現場にサポートチームが、生産現場のお話を届けるそれが「デリ・ファーム(デリ・ファーム)」です。

この機会に、「牛」に学ぶ「牛」について一緒に考えてみませんか？

牛さんのイヤリングってなあに？ 牛乳からチーズを作ろう！

牛さんのご飯はなあに？

<問い合わせ先>
社)山口県畜産振興協会
TEL:083-973-2725
FAX:083-974-1030
募集に記入後FAX⇒TEL

岩国市立神東小学校
[TEL] 083-974-1030

学校向け畜産体験学習サポートチラシ

ふれあいサポートチーム
「近くの学校から、視察の受け入れを頼まれたんだけど人手がなくて大変(A、A)・・・」
という声も、サポートチームがお手伝いいたします。

・視察のルール説明
・衛生対策
・各種食材・資料を使用した「畜産」
「牧場」の紹介等々

この機会に、生産現場の声をPRしてみませんか？

この自いかたまりの中はなあに？ 牛乳からチーズを作ろう！

心の音が聞こえる？

<問い合わせ先>
社)山口県畜産振興協会
TEL:083-973-2725
FAX:083-974-1030
募集に記入後FAX⇒TEL

岩国市立神東小学校
[TEL] 083-974-1030

畜産農家向け体験受入サポートチラシ

モーモースクール(酪農のお話し)

酪農家が小学校で牛のこと畜産の仕事のことを話しました。
酪農家の牛をみる管理に、シートの上には搾乳器と牛乳が流れる牛乳を搾る。毎日搾る酪農家が牛を育てているのか・・・などを説明しました。

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

岩国市立神東小学校
[TEL] 083-974-1030

学校での体験学習事例1

モーモースクール(バケツ搾乳体験)

バケツの中の子牛の乳筒の乳を搾り、上手に搾ると水が出てきます。
高橋酪農協会の先生は、バケツの中の子牛の乳筒の乳を搾り、上手に搾ると水が出てきます。
高橋酪農協会の先生は、バケツの中の子牛の乳筒の乳を搾り、上手に搾ると水が出てきます。

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

岩国市立神東小学校
[TEL] 083-974-1030

学校での体験学習事例2

モーモースクール(和牛体験)

酪農協会の先生は、和牛の子牛を連れてきてもらい、子どもたちといっしょにふれあい体験をしました。
和牛の子牛は人工授精され、人に慣れた牛を連れてきてもらいます。

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

岩国市立神東小学校
[TEL] 083-974-1030

学校での体験学習事例3

モーモースクール(乳製品加工)

酪農家が小学校で牛の乳を加工している乳製品に加工してもらいました。
ペットボトルでの搾乳体験、カップヨーグルト、チーズケーキ作り、ヨーグルト作り体験を行いました。

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

岩国市立神東小学校
[TEL] 083-974-1030

学校での体験学習事例4

酪農体験学習(鏡鏡司小学校)

校内にある本畜産で物産展開催。当日は牛乳がどろどろになるのを体験しました。
学校周辺で見られるの乳牛の乳牛(サイレーン)を知ることができました。

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

岩国市立神東小学校
[TEL] 083-974-1030

学校での体験学習事例5

畜産体験学習(淵小学校)

酪農協会の先生は、酪農への立ち入り体験している酪農、牛の育てる酪農を酪農で体験し、酪農・サイレーンに関する体験を行いました。牛へのお話しも、酪農の体験ができました。

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

牛舎へお話し
[TEL] 083-974-1030

酪農家へお話し
[TEL] 083-974-1030

岩国市立神東小学校
[TEL] 083-974-1030

学校での体験学習事例6



牧場での体験学習事例 1



牧場での体験学習事例 2



牧場での体験学習事例 3



乳業工場へ畜産体験版画常設



乳業工場へ畜産体験版画常設



乳業工場へ乳牛タペストリー常設

<教材 5種類>



養豚紹介パンフ 1



養豚紹介パンフ 2



酪農紹介パンフ 1



酪農紹介パンフ2



チーズづくり紹介パンフ1



チーズづくり紹介パンフ2



トウモロコシづくり紹介パンフ1



トウモロコシづくり紹介パンフ2



山口型放牧紹介パンフ1



山口型放牧紹介パンフ2

<レシピ 5種類>

The image displays six recipe cards arranged in a 2x3 grid. Each card features a title, a photograph of the dish, and a list of ingredients and instructions. The recipes are:

- お肉と野菜でヘルシー☆** (Healthy with Meat and Vegetables): A dish featuring meat and vegetables.
- レンジで簡単♪** (Easy with Microwave): A recipe for a dish prepared in the microwave.
- ミルクたっぷり♪** (Milk is Full): A recipe for a milk-based dish.
- 畜産おべんとう** (Livestock Bento): A bento-style dish featuring beef tendon.
- 牛の恵み SWEETS** (Cow's Blessing SWEETS): A collection of three sweet recipes.

平成22年10月23日チーズ作りと牛乳料理教室に参加した山口県立大学お弁当の日プロジェクトメンバーが作成